

5 1. 大湊郷の農地や集落を守る 濁川排水路				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
濁川排水路	濁川排水路はかつて大湊郷と呼ばれた沼地を新田開発するため江戸初期に造られた排水施設です。大湊郷は現在の上越市頸城区、大潟区、吉川区にまたがる水田地帯ですが、この地域は湿地で崩れやすく絶えず護岸の補修が必要で、現在も施設の長寿命化を図るための改修が進められています。	上越市頸城区、大潟区	頸城土地改良区 大潟町土地改良区	排水路

5 2. 妙高山に抱かれる 頸城の里の農業を支える用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
笹ヶ峰ダム	笹ヶ峰ダムは頸城平野の農地7,000haを灌漑するための水源施設です。昭和58年国営関川農業水利事業で妙高高原町（現妙高市）に造成された総貯水量1,060万m ³ のダムです。農業利用ダムでは全国一標高の高い1200mにあり東北電力がその落差を利用し12か所で水力発電を行っています。ダム湖周辺は上信越高原国立公園で牧場やキャンプ場などのある自然豊かな憩いの場となっています。	妙高市杉野沢	新潟県	ダム
関川頭首工	関川頭首工は関川にある灌漑のための取水施設です。江戸後期に造られた稲荷中江用水の取水口に、木杭を使った簡易な構造の堰で、草堰と呼ばれるものでした。洪水のたびに幾度となく改修され、現在の頭首工は平成7年の水害後に建設された施設です。	妙高市広島	関川水系土地改良区	頭首工
子安頭首工	子安頭首工は柳池川にある大道子安用水の取水施設です。その歴史は古く上江用水や中江用水よりも前と伝えられています。氾濫の度に堰の位置を変えてきましたが昭和55年国営関川農業水利事業で自動開閉ゲートの近代的な施設に改修されました。	上越市下新町	関川水系土地改良区	頭首工

5 3. 江戸の昔から守り継がれる 頸城平野の用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
上江幹線用水路	上江用水は今から四百年以上前の天正年間(1573-92)に工事が始まったと伝えられており、以後、先人の努力により水路を延長する堀継ぎ工事が少しずつ進められてきました。現在の水路延長は26kmで、2,300haの水田に水を行き渡らせ、豊かな恵みを与えてくれます。	妙高市川上	関川水系土地改良区	用水路
三丈堀	上江用水はの工事は、山腹を切り開く難工事でしたが、その中で特に有名なのが安永年間に掘られた三丈堀と呼ばれる区間で、高台を三丈（約9m）も掘り下げた、柳池川を越えるトンネルを掘るなど全国でも有数の難工事といわれていますが、この工事のために地元の庄屋が3代に渡り自分の財産を使ってまで工事の陣頭指揮を執って、完成にこぎ着けました。当時の功労者を讃えて上江北辰神社では毎年7月に祭りが行われています。	上越市清里区荒牧	関川水系土地改良区	用水路
上江用水記念公園	上江用水の旧取り入れ口の跡地で、上江用水発祥の地として、先人の遺業を称え後世に伝えるために記念公園として整備されています。取り入れ口のモニュメントや記念碑が建てられ、春には桜が満開となり訪れる人の目を楽しませています。	妙高市川上	関川水系土地改良区	その他
参賀幹線用水路	参賀幹線用水路は高柳用水と呼ばれていました。もともと江戸時代に関川から引かれた用水で、明治以後の町村の合併等により「三ヶ江用水」「参賀用水」と呼び名が二度変わっています。現在は、関川右岸幹線用水路から取水して関川を水管橋で越えて関川左岸地域の水田を潤しています。	妙高市姫川原	関川水系土地改良区	用水路
中江幹線用水路	中江用水は、1670年ころの大干ばつを機に地元農民が高田藩に用水の開削を願い出て、延宝2年(1674)工事が始められ、5年の歳月をかけて完成しました。当時、水路の延長は26kmにも及び越後最大でした。その後、多くの改修が行われてきましたが、昭和43年から始まった国営関川農業水利事業によって、笹ヶ峰ダムの築造と併せて頭首工や中江用水が新たに造られ昭和58年に完了しました。現在の用水路は約10kmの長さとなり、2,400haの水田に水を行き渡らせ、豊かな恵みを与えています。	妙高市西条	関川水系土地改良区	用水路
大熊川サイフォン	中江用水路の大熊川との交差部分は、開削時は大熊川の川の中に用水を通す水路を掘って川水を取り入れる仕組みになっていましたが、昭和14年に大熊川の下に管を通す伏越式に改造されました。その後の改修工事で、伏越の管が2本になり、水田に水を安定して供給出来るようになりました。	上越市板倉区熊川	関川水系土地改良区	用水路
西条大江口	西条大江口は、関川にある中江用水路の旧取水口でしたが、昭和14年に用水の取り入れ口が板倉発電所の場所になったことにより使われなくなりました。現在は、用水の歴史を偲ぶ公園として整備され、親しまれています。	妙高市西条	関川水系土地改良区	その他

5 4. 江戸の昔から流れる 柿崎の 炭屋用水路				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
炭屋用水路	炭屋用水路は上越市柿崎区の平沢集落の農地を灌漑する用水施設です。山間にある地域の用水として飲料水にも利用されてきました。江戸の昔から300年にもわたり上下流で水争いがあったことから下流の人たちが長年水源を視察していました。今も平沢集落の人々が大切に管理しています。	上越市柿崎区平沢	平沢町内会	用水路

5 5. 戦国末期の古地図に記される 岩堰用水				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
岩堰用水	岩堰用水は上越市吉川区の農地140haを灌漑するための取水施設です。慶長2年(1597)の越後国頸城郡絵図にも記されている由緒ある堰で今も水神様を祭り、地域で大切に管理されています。	上越市吉川区	吉川土地改良区	用水路

56. 大したもん蛇の里 開田の願い叶えた用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
願人堀頭首工	江戸安政の時代(1854-59)、女川の河岸段丘に鑿と樋で隧道を完成させ、みごとに開田を成し遂げた先人を村人たちは願人(がんにん)さまと呼びました。願人堀とは当時掘られた用水路のことで今も地域で大切に管理されています。	岩船郡関川村大字小和田	関川村土地改良区	頭首工
願人堀隧道水路		岩船郡関川村大字小和田	関川村土地改良区	用水路
新堀頭首工	明治になり開田の新たな計画を起こし、隧道を掘るなど15年もの歳月を費やした新堀が大正7年に完成しました。山形、富山、青森からの入植者を迎え133haが開田されました。深沢集落にはこの開田を完成させた片岡晴次郎の功績を讃える顕彰碑が建てられています。	岩船郡関川村大字小和田	関川村土地改良区	頭首工
新堀用水路		岩船郡関川村大字小和田	関川村土地改良区	用水路

57. 農民の労苦を偲ぶ 金俣小川用水				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
金俣小川用水	金俣小川用水は昭和19年から昭和22年の物資不足の時代、国や県の補助もほとんど受けずに集落の有志9名が自ら開削した用水路です。費用のほか隧道を掘るためのダイナマイトを毎日村上から列車で運ぶなど、大変な苦勞をして造られた水路は今も集落で大切に守られています。	岩船郡関川村大字金俣	金俣小川用水組合	用水路

58. アイヌ語で清い川 胎内川の用水施設				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
胎内川頭首工	胎内川沿岸では農業用水が不足し長く水争いが絶えませんでした。昭和19年に1か所の取水堰から取水することで和解が成立し、昭和22年から本施設の前身である樽ヶ橋頭首工と左右岸の用水路が整備されました。その後、度重なる洪水で樽ヶ橋頭首工の機能が低下したため、200m下流に沿岸の農地2,800haを灌漑する現在の胎内川頭首工が建設されました。地域の子も達が施設を学んだり、桜や藤の花が人の目を楽しませるなどさまざまに利用されています。	胎内市羽黒、下館	胎内沿岸土地改良区	頭首工
夏井頭首工	夏井頭首工は75haの農地を灌漑するための取水施設です。施設の上流は胎内リゾート施設のフィッシングパークやボート遊び、大噴水などに利用され観光施設として利用されています。	胎内市夏井	胎内沿岸土地改良区	頭首工
本郷江用水路	胎内川左岸地域の水田1,400haに農業用水を運ぶ用水路です。この用水は近隣の住宅団地の防火用水としても利用され、隣接する農道には地域住民の手で桜が植えられ散策道としても利用されています。	胎内市野中	胎内沿岸土地改良区	用水路

59. 地域の宝 胎内坂井の新伝田隧道				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
新伝田隧道	新伝田隧道は胎内市坂井地域の農地6haを灌漑する用水施設です。山腹水路の維持が大変だったため昭和10年頃に小作人たちがお金を出し合い180mのトンネルを手掘りしました。この隧道は戦後の開田にも威力を発揮し地域のまとまりを高めました。今も地域の誇りとして農家組合によって大切に維持管理されています。	胎内市坂井	坂井農家組合	隧道

60. 羽越水害から甦った 鹿ノ俣用水隧道				
施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
鹿ノ俣用水隧道	鹿ノ俣用水隧道は胎内市宮久地域などの農地160haを灌漑するための用水施設です。昭和41年・42年の羽越水害を契機に砂防ダムから取水するために新設された水路トンネルで、安定した取水に感謝し毎年春に地域総出で保全活動が行われています。	胎内市宮久	鹿ノ俣水系管理区	隧道

6.1. 村松浜の砂丘貫く 築地樋管

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
築地樋管 (暗渠排水路)	築地樋管は昭和38年に始められた県営開拓パイロット事業で砂丘脇にたまる地下水を海に流すために造られた排水施設です。排水不良の解消で120haの畑が造成され、チューリップ、菜たばこ、大根などが栽培されています。	胎内市村松浜	築地土地改良区	排水路

6.2. 開拓の稔りを支える 津南の貯水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
城原ダム	城原ダムは国営苗場山麓第一地区で建設された有効貯水容量117万m ³ の水源施設です。前面傾斜コア型フィルダムで昭和63年度完成し、加圧機、揚水機、パイプラインを使って津南町沖の原、城原、天上原地区の畑地638haを灌漑しています。	津南町大字谷内	津南郷土地改良区	ダム
大谷内ダム	大谷内ダムは国営苗場山麓第二地区事業で建設された有効貯水量120万m ³ の水源施設です。平成2年に完成したアースダムで地域の農地732haを灌漑しています。	津南町大字秋成	津南郷土地改良区	ダム
大場頭首工	大場頭首工は国営苗場山麓第二地区で造成された取水施設です。、清津川の支流釜川に造られた溪流からの取水施設でバースクリーンで石や流木が入らない工夫がしてあります。苗場山麓の開拓地の豊かな実りを支える大谷内ダムの取入口として重要な施設です。	十日町市倉俣	農林水産省	頭首工
中子の池	中子の池は昭和33年に改修された農業用ため池で、中子集落80haの農地に用水を供給しています。ため池は津南郷土地改良区が管理していますが、池の周辺整備や植栽等を地域住民が自発的に行うなど、地域に親しまれています。ため池周辺に植栽した桜と地面に映える残雪が織りなす景観は、大変美しく、数年前からカメラマンが数多く訪れています。	津南町大字中子	津南郷土地改良区	ため池

6.3. 穀倉 西蒲原の農業を支える用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
西川揚水機場	西川揚水機場は西蒲原の農地10,917haを灌漑する重要な取水施設です。大河津分水の完成による信濃川の水位低下、水田の増加や排水対策の進展などによって、地域の用水源である西川の流量減少に伴う水争いを解消するため、信濃川から取り入れる樋管の設置と併せ、不足量を取水するため昭和48年に西川揚水機場が建設されました。	燕市	西蒲原土地改良区 (管理受託)	用水機場
蒲原用水路	蒲原用水路は大河津分水の開削によって水源を絶たれる国上地域の用水を確保するため大正7年に作られた補償施設です。昭和40年蒲原揚水機場を設置し送水能力を向上、昭和43年弥彦村麓地区に第二揚水機場を設置し農地797haを全て灌漑できるようになりました。	燕市大川津～弥彦村麓	西蒲原土地改良区	用水路
馬堀用水路	馬堀用水路は江戸正保元年(1644)馬堀村(新潟市西蒲区)の凶作を救うため名主 田辺小兵衛が開削した水路です。小兵衛は西川(燕市吉田地内)からの取水を長岡藩の許しを得て完成させましたが、公儀から独断事業との嫌疑を受け切腹させられました。没後およそ百年の宝暦2年(1752)村人たちは三根山藩の許可を得て首塚とも称される長恩院石塔を建て、毎年命日に首塚祭りを行って小兵衛の偉業を伝えています。	新潟市西蒲区	西蒲原土地改良区	用水路
西川補給施設群 大通川補給 矢島補給 内野第1補給 笠木補給 内野第2補給	西川補給施設群は西川の中・下流域の慢性的な用水不足を解消するため、排水河川から農業用水を汲み上げ用水河川である西川へ補給する用水施設です。西川中間(大通)補給、矢島補給、内野第一(曾根)補給、笠木補給、内野第2(仲才)補給の5か所の施設があります。西蒲原土地改良区では排水河川からの反復利用をできる限り減らす独自の取組を進めています。	新潟市西蒲区、西区	西蒲原土地改良区 (管理受託)	用水機場
西川水路橋	川が川を渡る。西川水路橋は一級河川西川が二級河川新川を渡るための全国的にも珍しい施設です。文政元年(1818)西蒲原地域の排水を日本海に流すため、元々あった西川の下に新しい川を通すための木製樋管が設置されました。大正2年(1913)樋管はアーチ型レンガ造9門の閘門(新川暗門)に増強されましたが、昭和30年(1955)になると西川での舟運衰退を受け鋼製トラスの水路橋が西川が流れる現在の形態になりました。	新潟市西区	新潟県	水路橋

6.4. 大風の舞う 中ノロ川の用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
中之ロ川頭首工群 六ヶ江頭首工 児ノ木頭首工 針ヶ曾根頭首工 上流部頭首工	現在、中ノロ川には上流から六ヶ江、児ノ木、針ヶ曾根、上流部の4つの頭首工(取水施設)があり、西蒲原の農地6,404haを灌漑しています。昭和30年代に水溶性天然ガスの採取に伴う最大1.1mの地盤沈下が発生し、中ノロ川からの取水に支障が出たため、昭和47年からこれらの施設が建設されました。	新潟市西蒲区、燕市	新潟県	頭首工
黒島用水路・樋管工	黒島用水路は中ノロ川から取水し黒島地域(新潟市西区)の農地291haに灌漑する用水施設です。昭和8年頃の樋管敷設工事の写真から当時の苦労が伺えます。	新潟市西区	西蒲原土地改良区	用水路
八ヶ江用水路	八ヶ江用水路は中ノロ川から取水し燕市から新潟市西蒲区の農地1,738haを灌漑する用水施設です。8つの集落を通る全長10kmに及ぶ水路で地盤沈下対策や排水の反復利用、近年、ほ場整備による節水技術の発達などにかつてのような水争いは少なくなっています。各集落では植栽などの水路周辺の美化活動が盛んに行われています。	燕市四ヶ谷～新潟市西蒲区漆山	西蒲原土地改良区	用水路

6.5. 弥彦の山脈を貫く 洪水用の放水路

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
御新田放水路 (国上隧道)	御新田放水路は御新田地区(3,370ha)の排水を国上隧道を通して直接日本海へ流す施設で平成3年(1991)に完成しました。この地域の排水は平常時には矢川を通じて日本海へ排水しますが、洪水時には新川や大通川下流域へ流下する水量を減らすため水門を調整してこの放水路から日本海へ流します。	燕市、弥彦村など	〈放水路〉西蒲原土地改良区 (管理受託) 〈隧道〉 燕市弥彦村 (管理受託)	排水路
種曹山隧道 新種曹山隧道	種曹山隧道は矢川の水を西川へ流さずに直接日本海へ流す隧道で昭和8年に着工して昭和14年に完成しました。新種曹山隧道は落盤などで機能が低下した種曹山隧道の役割を補完しその能力を強化するため昭和36年から種曹山隧道の隣に建設され昭和40年に完成した施設です。	新潟市西蒲区	新潟県	隧道
新々種曹山隧道	全長3.4kmの新々種曹山隧道(最大毎秒106m ³)は西蒲原下流域の水害を未然に防止するために設けられた全長11.5kmの大通川放水路の洪水を直接日本海へ排水する施設です。昭和53年6月(1978)の集中豪雨を契機に西蒲原地域の排水機能を一層強化するために国営西蒲原排水事業で建設されました。	新潟市西蒲区	新潟県	隧道
大通川放水路	大通川放水路は西蒲原下流域の水害を未然に防止するために設けられた全長11.5kmの排水施設で、全長3.0kmの新々種曹山隧道(最大毎秒106m ³)を通じて洪水を直接日本海へ排水します。昭和53年6月(1978)の集中豪雨を契機に西蒲原地域の排水機能を一層強化するために国営西蒲原排水事業で建設された施設です。洪水時に放水路の最上流部に設けた制水門を操作することで大通川上流地区(5,930ha)、飛落川上流地区(2,70ha)、矢川地区の一部(六間口上流地区460ha)の洪水を新々種曹山隧道へ導水し日本海へ吐き出します。洪水をこの放水路でショートカットし、下流へ流れていた水量を減少させることで西蒲原下流域の水害を未然に防止しています。	燕市、新潟市西蒲区	新潟県	排水路
大通川制水門	大通川制水門は大通川放水路へ洪水を流すために使われる施設です。洪水時にこの制水門を操作し大通川上流地区(5,930ha)、飛落川上流地区(2,70ha)、矢川地区の一部(六間口上流地区460ha)の洪水を大通川放水路、新々種曹山隧道へ導水し日本海へ吐き出します。これにより、これまで下流へ流れていた水量を減少させることで西蒲原下流域の水害を未然に防止しています。	燕市雀森	西蒲原土地改良区	排水門
新田荒井川 制水門	新田荒井川分水路は荒井川流域の洪水量をカットし新設した新田荒井川へ導水するための施設です。通常は、旧荒井川から大通川に排水していますが、1/10確率雨量を超える洪水時に旧荒井川制水門を全開、新田荒井川制水門を全開操作して、新田荒井川から大通川制水門上流部へ流下させます。	燕市二階堂中曾根	西蒲原土地改良区	排水門

6.6. 十日町 川西の河岸段丘を潤すダム群

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
川西ダム	川西ダムは信濃川左岸地域(旧川西町)の慢性的な水不足を補うために建設された有効貯水量111万㎡の水源地施設です。信濃川河岸段丘の農地の水源地施設として五升苗ダム、長福寺ダム、坪山ダム、松葉沢ダムとともに地域の農業を支えています。冬期間、これらダムから流雪溝用水を流し豪雪地帯の暮らしに役立っています。	十日町市新町新田	川西土地改良区	ダム
長福寺ダム	長福寺ダムは信濃川左岸地域(旧川西町)の慢性的な水不足を補うために建設された有効貯水量18万㎡(うち灌漑用10万㎡)の水源と洪水調整を兼ねた施設です。信濃川河岸段丘の農地の水源地施設として川西ダム、五升苗ダム、坪山ダム、松葉沢ダムとともに地域の農業を支えています。冬期間、これらダムから流雪溝用水を流し豪雪地帯の暮らしに役立っています。	十日町市中屋敷	川西土地改良区	ダム
坪山ダム	坪山ダムは信濃川左岸地域(旧川西町)の慢性的な水不足を補うために建設された有効貯水量19万㎡(うち灌漑用8万㎡)の水源と洪水調整を兼ねた施設です。信濃川河岸段丘の農地の水源地施設として川西ダム、五升苗ダム、長福寺ダム、松葉沢ダムとともに地域の農業を支えています。冬期間、これらダムから流雪溝用水を流し豪雪地帯の暮らしに役立っています。	十日町市坪山	川西土地改良区	ダム
松葉沢ダム	松葉沢ダムは信濃川左岸地域(旧川西町)の慢性的な水不足を補うために建設された有効貯水量15万㎡(うち灌漑用 万㎡)の水源と洪水調整を兼ねた施設です。信濃川河岸段丘の農地の水源地施設として川西ダム、五升苗ダム、坪山ダム、松葉沢ダムとともに地域の農業を支えています。冬期間、これらダムから流雪溝用水を流し豪雪地帯の暮らしに役立っています。	十日町市上野甲	川西土地改良区	ダム
五升苗ダム	五升苗ダムは信濃川左岸地域(旧川西町)の慢性的な水不足を補うために建設された有効貯水量10万㎡の水源地施設です。信濃川河岸段丘の農地の水源地施設として川西ダム、長福寺ダム、坪山ダム、松葉沢ダムとともに地域の農業を支えています。冬期間、これらダムから流雪溝用水を流し豪雪地帯の暮らしに役立っています。	十日町市仁田	川西土地改良区	ダム

6.7. 先人の夢を叶えた 留山ダム

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
留山ダム	留山ダムは旧松之山町天水島周辺の農地333haを灌漑する総貯水量42万㎡の貯水施設で、昭和61年に完成しました。天水島地域の天水田で用水を求め苦労した様子が宝用水物語という演劇で今も地元小学生に語り継がれています。日照り続きでも安定して用水を送る「地域の誇り留山ダム」を大切にしようとして毎年8月15日にはダム祭りが開かれ多くの人々が賑わいます。	十日町市松之山 天水島留山	松里土地改良組合 十日町市	ダム

6.8. 江戸天明の昔から中里の段丘潤す用水施設

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
桔梗原頭首工	桔梗原頭首工は清津川右岸の段丘地域を含む農地502haを灌漑する取水施設です。豪雪地帯の取水施設として農業用水のほか流雪溝用水を供給するため冬期も河川から取水するため施設の除雪を行っています。	十日町市東田尻	中里土地改良区	頭首工
桔梗原隧道 桔梗原用水	桔梗原用水は信濃川河岸段丘にある桔梗原へ清津川から農業用水を送るため江戸天明5年(1785)に全長9km(開渠6km、隧道3km)が開削されました。隧道工事では多くの犠牲者を出すなど先人の血と汗で建設された歴史のある用水施設です。地元小学生も総合学習の対象として見学に訪れその歴史を学んでいます。	十日町市	中里土地改良区	隧道 用水路

6.9. 江戸初期から十日町 下組の美田を潤す 神明洞門

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
神明洞門	神明洞門は十日町市下組地域の農地60haを灌漑するための用水施設です。今から300年以上前に新田開発のために掘られた用水トンネルで、落盤事故で多くの死傷者を出す難工事だったと伝えられています。現在も地域の貴重な用水として、地元の人々が苦労しながらトンネル内の土砂の撤去などの維持管理を行っています。	十日町市下組	十日町土地改良区 下組水利組合	用水路

7.0. 隧道に先人の苦勞を偲ぶ 柴倉沢水路

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
柴倉沢水路	十日町市清田山、下山、重地(じゅうじ)集落の農地36haと生活を支える用水施設です。昭和31年に完成した全長7kmの山腹水路で、トンネル6か所のうち4か所は手掘りトンネルで地元では難工事に関わった先人の苦勞を語り継ぎ大切に管理しています。	十日町市清田山	柴倉沢水路利用組合	用水路

7 1. 市民の憩う桜並木の福島江

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
福島江用水路取水口	福島江用水路取水口は信濃川の妙見堰にあります。福島江用水路の取水口は幾たびも位置が変わりましたが、平成2年妙見堰が建設される際に現在の位置に造られ毎秒最大24mを取水しています。直下流の福島江隧道は老朽化が進んだため毎年補強工事が行われています。	長岡市妙見	福島江刈谷田川大堰土地改良区連合	用水路
福島江用水路	福島江は信濃川の妙見堰から農業用水を取り入れ信濃川右岸の長岡市から三条市に至る農地7,160haを灌漑する用水路です。江戸慶安4年(1651)に福島村(長岡市福島町)の庄屋桑原久右衛門が長岡藩の許しを得て3年の歳月と莫大な労力や資材を投じ20kmの水路を完成させたことから、久右衛門の出身地の名を取り福島江と名付けられました。その後、現在に至るまで用水路の延伸や改良が重ねられ、長岡の市街地では両岸に桜が植えられ市民に親しまれています。長岡市下々条町には桑原久右衛門の業績を讃える記念碑が建立されています。	長岡市妙見町～池之島、大口	福島江土地改良区連合	用水路
山北用水路	山北水路は昭和26年に完成した福島江の支線用水路です。福島江から取水後、長岡市住吉町から乙吉町までの約4kmは口径1,100mmの送水管を地中に埋設し、その上部は散策路「マイロード長岡」として近隣住民の憩いの場として利用されています。	長岡市麻生田ほか	福島江土地改良区	用水路

7 2. 小国の農民が語り継ぐ 月ノ木用水隧道

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
月ノ木用水隧道	月ノ木用水隧道は長岡市小国町千谷沢の棚田20haを灌漑する用水施設です。山裾を流れる水路の維持に苦労していた地域の農民自らが昭和13年から4年をかけて300mのトンネルを掘ったエピソードが語り継がれています。地域では今もこの用水を愛着をもって保全し、子どもたちの学習や地域コミュニティ活動の場として活用しています。	長岡市小国町	月ノ木水組合	隧道

7 3. 江戸慶安の時代から地域を潤す 大江用水路

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大江用水路(鴉ヶ島隧道)	大江用水路は江戸慶安2年(1649)から開削が始められた刈谷田川左岸の農地430haを灌漑する延長12.7kmの用水施設です。農業用水の不足や刈谷田川が氾濫するたびに取入口を改修し上流に水源を求めてきました。中でも延長330mの鴉ヶ島隧道は明治38年(1905)に開通したトンネルで、現在も地域の人々が中に入っている江ざらいや点検を行って大切に管理しています。	長岡市鴉ヶ島	福島江土地改良区	用水路

7 4. 江戸延宝の夢を叶えた 大沼排水機場

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
大沼排水機場	長岡市中之島地域の水田地帯の北側には赤沼潟という潟湖が広がり湛水の常襲地域でした。潟湖の水位を下げるため、江戸延宝5年(1677)に潟の出口を信濃川から刈谷田川へ切り替えるなどの工事を行ってきました。明治32年(1899)、明治42年(1909)、明治43年(1910)に各地域に次々と排水機が設置され、昭和3年(1928)には初代の大沼排水機場が設置され、潟湖は次第に水田が広がる耕地へと変わっていききました。現在の排水機場は、平成11年に県営事業によって建設されたもので4代目になり、この地域の農地や集落を洪水や湛水被害から守っています。	長岡市下沼新田	中之島土地改良区	排水機場

7 5. 戊辰の役ゆかりの八丁潟を守る排水機場

施設名	施設の概要、特徴	所在地	管理者	種別
八丁潟排水機場	八丁潟は長岡市新組町、大黒町、福島町にまたがる湿地帯ですが、戊辰の役で河井継之助が一旦奪われた長岡城を、官軍の虚をついて八丁潟を渡って奪還したことから名前が知られるようになりました。この地域では昭和27年から排水改良が進められ、猿橋川へ排水する施設が多く造成されました。八丁潟排水機場は昭和55年に改築され、1,533haの農地や集落を水害から守っています。	長岡市新組町	長岡市	排水機場